

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内 容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2		60.0	40.0	0.0	利用者によって、部屋の仕切りなどをしてクールダウンのスペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切であるか		2	3	0.0	40.0	60.0	1名職員を募集している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			100.0	0.0	0.0	車いすのままでも入れるように、常に車いすのスペースを意識して環境整備を行っている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	1		80.0	20.0	0.0	毎日、打ち合わせは実施できているが、長期休暇は時間がない為、申し送りノートにて情報共有している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			100.0	0.0	0.0	アンケート実施。その都度検討し、改善に取り組んでいる。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			100.0	0.0	0.0	ホームページ、所内開示と会報で公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3		40.0	60.0	0.0	各委員会のラウンドや、保護者にも評価表でアンケートをとり、業務改善につなげている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			100.0	0.0	0.0	外部研修にも参加できるようになっている。Zoom研修にも参加している。	eラーニングを使用し、研修の機会を増やし、資質の向上に取り組んでいる。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			100.0	0.0	0.0	担当者会議や保護者・関係機関から情報収集を行い、支援計画の作成を行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1		80.0	20.0	0.0	アセスメント場面で使用する独自のチェックリストを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			100.0	0.0	0.0	週のリーダーを決め、週案を立るときに、プログラムを考えている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			100.0	0.0	0.0	平日の個別活動は、本人が選択して行うプログラムにしている。一斉の活動も、固定化しないように考慮している。	ビジョントレーニング・SSTを導入している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			100.0	0.0	0.0	達成感が感じられるよう丁寧に分析しながら対応している。	個々に応じて、支援できるようにしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		80.0	20.0	0.0	子どもの状態から、集団活動の必要性を考慮し計画している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			100.0	0.0	0.0	毎日行い、利用者の特性に応じた支援、送迎時間の確認をしている。長期休暇では、連絡ノートで共有できるようにしている。	ノートだけではなく、なるべく口頭で伝えるように職員間で心がけている。

適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1		80.0	20.0	0.0	支援終了後は、時間制限があるため、翌日に振り返りを行っている。	翌日に必ず話し合いの時間を確保し、前日にあった特記事項などは、メモし振り返るようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1		80.0	20.0	0.0	毎日の記録以外に、特に記述が必要な場合は、行事・活動毎に記録している。	月に一度、保護者へ写真入りで、活動報告を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1		80.0	20.0	0.0	支援計画の目標については、達成できるように目標の設定を行っている。	今後も、保護者、関係機関との面談回数を、増やしていく方向。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	1		80.0	20.0	0.0	ガイドラインの基本活動を基に支援を行なっている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			100.0	0.0	0.0	児童発達支援管理責任者又は担当者が出席している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	1		80.0	20.0	0.0	学校との情報共有は行っているが、時々下校時刻の変更などの連絡がないときは、こちらから確認をとるようにしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5			100.0	0.0	0.0	受け入れの際、情報収集したことは職員間で、周知できている。緊急時の対応は、職員がわかる場所に掲示している。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2		60.0	40.0	0.0	保育所・幼稚園などとは情報共有はないが、児童発達支援事業所との連絡、情報収集は行なっている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2		60.0	40.0	0.0	学校主催の、移行支援会議に参加できるよう連携していく。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1		80.0	20.0	0.0	発達障害者支援専門員とは頻りに連絡をとり、助言を受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	4	0.0	20.0	80.0	利用者や、感染症対策の観点から難しい。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	2		60.0	40.0	0.0	主に担当している職員が参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	2		60.0	40.0	0.0	保護者との面談を増やしている。また送迎時や、必要に応じて電話連絡し、情報共有に努めている。	今後は、所内相談を積極的に行い、さらに保護者との共通理解に努めていきたい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			5	0.0	0.0	100.0	ペアレントトレーニングはできていません。	今後、ペアレントトレーニングができる外部の方を呼ぶなど工夫する。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1		80.0	20.0	0.0	契約時に運営規程にて説明させていただいている。支援内容は、支援計画書の報告時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1		80.0	20.0	0.0	必要なときは所内相談を行っている。また、電話や送迎時、相談に応じている。	

保護者への説明責任等	32	行事を定期的を開催することで、保護者同士の話ができる場を支援したり、連携ができるように支援しているか	4	1		80.0	20.0	0.0	年に2回、保護者参加型の行事を開催している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			100.0	0.0	0.0	苦情解決委員会を設置しており、対応できるように準備している。	日頃からご意見をいただけるよう意識して対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			100.0	0.0	0.0	月に一回、個々へ活動の様子を写真で伝えるようにしている。	
	35	個人情報に十分注意しているか	5			100.0	0.0	0.0	個人ケースの保管は、鍵ロッカーで行い、文章破棄の場合は、シュレッダーを使用している。個人情報のUSB等の持ち出し禁止。利用者の写真掲載などは、保護者の承諾をいただいている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			100.0	0.0	0.0	子どもの代弁者としての役割を担うように意識している。個々に応じたコミュニケーションの手段を支援に取り入れ、保護者にも伝えている。	視覚支援として、写真・絵カードの充実に努めている。また、利用者によっては、コミュニケーション手段として、iPadを使用している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	3	0.0	40.0	60.0	感染対策を引き続き行っているため、外部の方を交えた行事が思うように行えていない。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		60.0	40.0	0.0	法人と事業所独自の防災マニュアルがある。職員がすぐに確認できるよう、取りやすい場所に保管している。	保護者には、面談時に閲覧できるようにしていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			100.0	0.0	0.0	法人で、防災訓練を実施している。SSTで、避難の必要性など伝えている。	利用者の方は、長期休暇に参加している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			100.0	0.0	0.0	虐待防止研修会は、全員参加できるようにしている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			100.0	0.0	0.0	対象者の保護者には説明を行い、同意書をいただいている。やむを得ず、身体拘束を行う場合、支援計画に記載している。身体拘束を行った場合は記録もしている。	身体拘束については、拘束を減らしていく考えを常に持ち、観察している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1		80.0	20.0	0.0	医師の指示書はないが、保護者の申告に基づいて対応している。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			100.0	0.0	0.0	法人の医療等安全管理委員会や、安全推進専門部会で毎月インシデントの報告・検証・対策を行っている。		